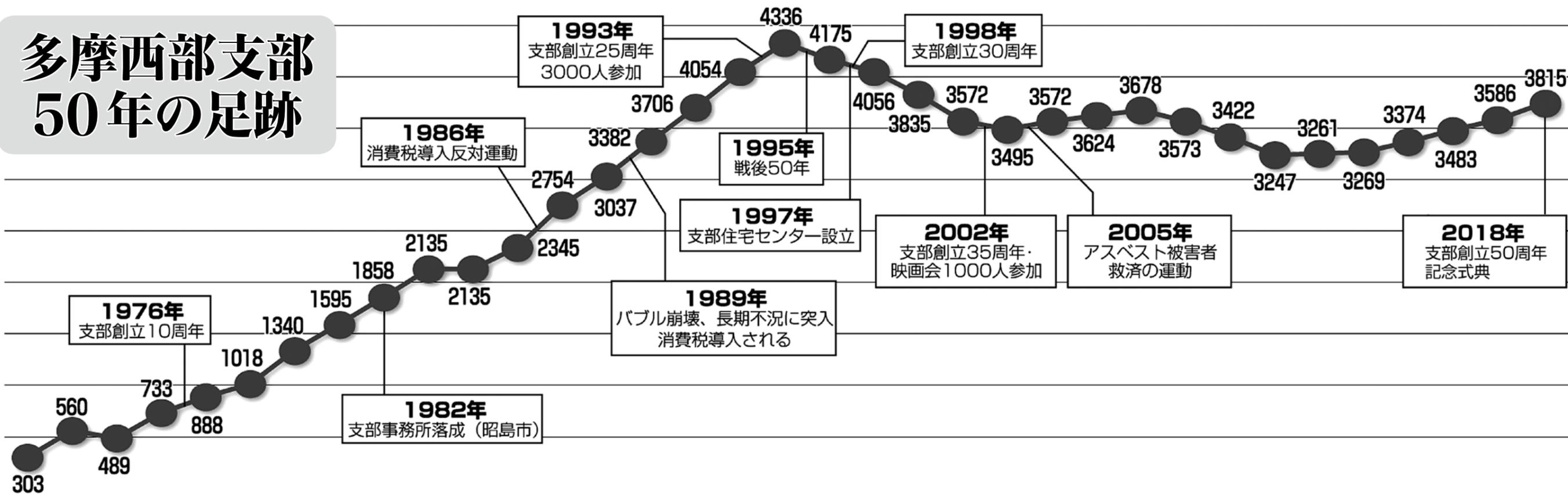


# 多摩西部支部 50年の足跡



立川市  
昭島市

## 技能功労者褒賞授与



立川市では、同一の業種に30年以上従事した65歳以上の方で、その優れた技術で市民生活に貢献された方に対し技能功労者として褒賞が授与されました。その中で支部から檜山博志さん(砂川分会)が表彰されました。

また、昭島市においても技能や技術を磨き後進の指導育成に貢献したとして支部から大谷勝裕さん(昭島中央分会)、須藤武志さん(拝島分会)、小澤恒憲さん(玉川分会)が表彰されました。



写真左端が檜山博志さん



写真上段左端が大谷勝裕さん、上段中央右が須藤武志さん、下段右端が小澤恒憲さん

### 新春コラム

## 鶴は千年、亀は万年

ご祝儀の席では事有るごとに、皆々様方が言祝がれる長命の諺で有りますが、果たして鶴が千年も長生き出来るのでしょうか。鶴が千年ならば新潟のコウノトリも鶴の一種で、半分でも五百年は生きると思われます。然しせいぜい長命でも四〜五十年だと言われています。ましてや亀は万年と言っていますが、亀が万年も生き永らえたなら、地球上は亀ばかりで人間の住む処が無くなってしまいます。

然らば何故この言葉が有るのでしょうか。愚か者の私如き者が思案させて戴きます時、鶴とは蔓ではないかと思われました。朝顔の蔓、胡瓜の蔓等、続いて伸びていく蔓ではないでしょうか。徳川家の蔓は三百年今でも徳川は十八代と続いて居られまして、約四百五十年伸びて居られます。親から子、子から孫へと家系が千年も続いていく姿を願っているのではないのでしょうか。亀(カメ)は家名(カメイ)だと思います。わが国では天皇より賜った苗字・家名は源平藤橘であります。源氏・平家・藤原・橘の四氏です。其処へ秀吉が自分の姓を貰う為にと宮中、京都を整備して、豊臣の家名を戴きましたが豊臣の蔓は二代十四年で終わりました。然し豊臣の家名は我が国が、否地球がある限り万年消えません。

中国では孔子・孔明等、西洋ではマルコポーロ等苗字を揚げた家名は末代に残って絶対に消せません。ゆえに亀(カメ)は家名(カメイ)として万年も残る譬を表しています。(国立分会・古田 好一)

## 試行錯誤の30年でした

— 堀口書記退任の挨拶 —



振り返ってみると失敗と後悔の積み重ねであり、次は「もっと上手くやろう」という思いの連続でした。

実務面では、技術上の進歩が大きく、入職時と現在では比較するすべがありません。PCは書記の実務を量的にも質的にも変化させました。お

じさんには「やってられないよ」が正直な実感です。

運動面でも取り組みに多様性があり「組合でこれもありか？」に直面すること多々ありでした。

組合は要求で組織されます。その要求を吸い上げて運動に取り入れ、さらに大きな要求実現へと進んでいきます。

多摩西部支部の50年、さらに今後の発展を期待しています。30年間ご指導ありがとうございました。

長い夜を明かし／草の葉に宿った／真珠よりも美しい／朝露のように／私の心に悲しみが／一粒一粒生まれるとき／朝の丘に登り／小さな微笑みを知った／太陽は紅く輝きながら／墓地の上に登り／真昼の蒸し暑さは／私への試練だろう／我は行かん／あの荒れ果てた荒野へ／悲しみを全て捨て去り／我は行かん(韓国の詩人・金 眠基)私の好きな詩人の一人です。

(元書記・堀口 利夫)